



発行：山形県舟形町議会  
平成24年10月26日

祝

## 縄文の 女神

## ついに国宝に 指定



(祝賀セレモニー)

7月・8月臨時会・9月定例会概要	2 P
臨時会・定例会質疑応答	3~4 P
決算審査特別委員会概要・監査意見書	5 P
決算審査特別委員会質疑応答	6~7 P
一般質問	8~12 P
一般質問のゆくえ・議会活動	13~14 P
町民の声・人事案件・請願・意見書	15 P
えがったなあ・編集後記	16 P

第4回臨時会  
7月23日  
第5回臨時会  
8月14日  
9月定例会  
6～13日

9月定例会は、6日から13日までの会期で開催され、5人の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算等、全議案を原案どおり可決しました。  
23年度決算については、特別委員会を設置し本会議において認定しました。

# 平成23年度決算を認定

総額 64億1,582万円

## ◎小学校増築工事

落札率 85%  
契約金額 1億1,340万円

### 主な付議事件

#### 第4回臨時会

●舟形小学校増築工事請負契約の締結  
●契約の相手 (株)沼田建設

#### 第5回臨時会

●一般会計補正予算  
●災害復旧費

#### 9月定例会

●一般会計・特別会計補正予算  
●舟形町教育委員会委員の任命  
●平成23年度決算の認定

### 8月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億3,100万円	38億9,930万円

### 9月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	2億1,445万円	41億1,375万円
介護保険	2,620万円	7億1,490万円
国民健康保険	1,700万円	6億9,300万円
簡易水道	480万円	2億0,380万円
農業集落排水	520万円	2億0,920万円
公共下水道	200万円	1億8,600万円

## 質 疑 応 答

### 第4回臨時会 (7/23)

議員 指名競争入札ではなく、一般競争入札になった経過は。

副町長 要綱により設計額が5千万円以上の場合、一般競争入札すると定めているからです。

### 第5回臨時会 (8/14)

議員 災害復旧事業について、これから発注となると、また冬季間の工事になるのではないかと、

地域整備課長 2次査定分5か所は着工の承認を得ていますが、3次査定分11カ所は内示がありしたい発注します。できるだけ雪の降る前に工事を完了するようにしたいと思っています。

### 定例会

#### 平成24年度一般会計補正予算

議員 旧南部保育所跡地について、解体する際に駐車場にするとの事では。

総務課長 予算の範囲内で最終的に舗装をして活用を考えていきます。

議員 旧南部保育所跡地に、ドクターヘリのヘリポートを設置する考えはないのか。

総務課長 農村環境改善センター前駐車場をヘリポートとして考えています。



南署のヘリポート



現在の西ノ前遺跡地

議員 西ノ前遺跡検討委員会とはどのような内容か。

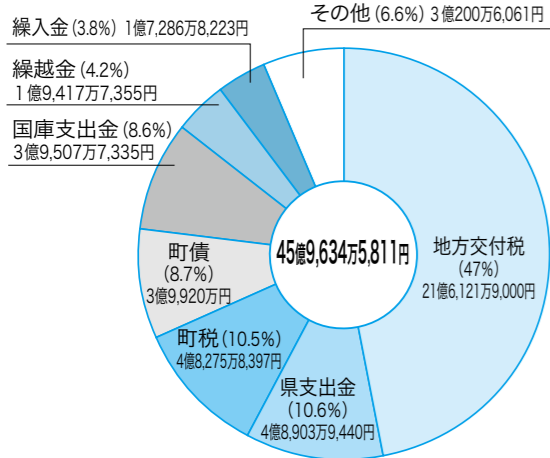
まちづくり課長 町、県が協力し、国宝にふさわしい遺跡地になるように検討をすすめるための委員会です。

議員 西ノ前遺跡検討委員会は、アクセス道路、周りの環境整備についても検討するのか。

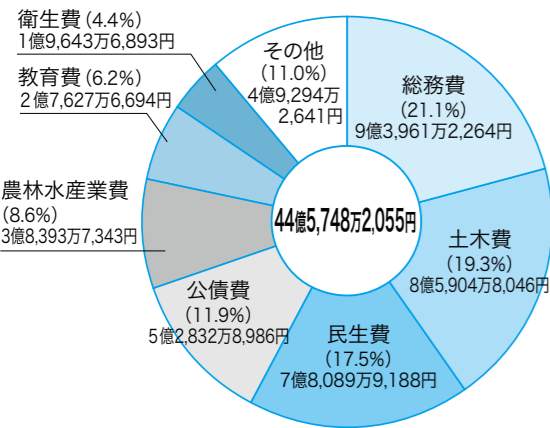
教育長 検討委員会でもその事も含めて、幅広く議論を行います。

一般会計

歳入 (45億9,634万5,811円)



歳出 (44億5,748万2,055円)



歳入歳出差引額

1億3,886万3,756円  
(来年度への繰越金など)

事業計画を精査し不用額を減らせ

任委員長を選任し、一般会計及び、6特別会計を慎重に審査し、満場一致で承認しました。



叶内 富夫 委員長

平成23年度の決算審査は、会期中の9月10日から12日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に叶内富夫議会議会運営委員長、副委員長に野尻益夫総務振興常

特別会計

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険	7億1,437万円	6億4,610万円
後期高齢者医療	6,275万円	6,242万円
介護保険	6億6,412万円	6億4,301万円
簡易水道事業	1億9,899万円	1億8,956万円
農業集落排水事業	2億2,874万円	2億2,667万円
公共下水道事業	1億9,865万円	1億9,058万円
合計	20億6,762万円	19億5,834万円



林代表監査委員

監査意見書

決算関係書類を審査した結果、決算計数は適正であると認めます。また、財政健全化法に基づく判断比率の算定は適正にされており、各項目とも基準を下回り、財政は健全であると認めます。  
町税は、景気の動向等に影響を受け個人住民税及び固定資産税が減少し、法人税が増となった。歳入の多くを占める地方交付税は対前年比3.6%の増加となっている。財政指標は、実質公債費比率、将来負担比率等で前年度より好転しているが、自主財源が少なく、依存財源が多数を占める本町にとって厳しい財政事情に変わりがあります。  
また、町税及び使用料の収入未済額が多くなっているため、その解消にさらなる努力をされたい。  
少子高齢化が進み、人口減少による町の活性化が失われることがないように皆で知恵を出し合い、安全で安心な生活環境づくりに努力されたい。



温泉入り口の拡幅工事

**議員 B & Gセンター修理費400万円の内容は。**  
教育次長 B & G体育館の裏に埋設していた重油タンクの撤去と、プールの排水管の修繕工事、玄関支柱の補強修繕工事、トイレのタイル張替え工事費に於けるものです。  
**議員 避難所である公民館の耐震化工事が必要な数と耐震工事の開始時期はいつか。**  
総務課長 対象となる公民館は、昭和56年以前建築のもので9箇所です。これから調査打合せを行い、今年度は2箇所の改修工事を実施する予定です。



B & Gセンター玄関口

特別会計

簡易水道事業補正予算

**議員 雑入の水道管移設工事負担金の内容は。**  
地域整備課長 福寿野地区圃場整備事業で、県道を用排水路が横断するため、水道管入れ替えに伴う県負担金です。



水道管入れ替え工事

**議員 紫山内山線1,285万円の減額の理由は何か。**  
地域整備課長 社会資本整備統合交付事業で国の補助金をいただきながら、3件の工事が予定されていましたが、富田中通り線消雪工事を完了させるため、紫山内山線の工事費を減額しました。  
なお、この件に関し、本会期中に行政側より追加補正予算の申し入れがあり、追加議案として受理し可決されました。

**議員 小規模畑地化整備事業596万円減額の理由は何か。**  
農政班長 昨年3月まで畑地化を希望する方の募集を行い6名の方が希望されましたが、自己負担金や秋工事になることなどが問題となり工事を断念した結果、1ha以上の面積が確保できなくなり申請しなかったための減額です。

# 質 疑 応 答

## 一般会計

### 歳入

**議員** 使用していないナイター設備は、利用頻度の多い施設に移設し設備の充実をはかるなど、施設の選択と集中に努めるべきであると思うが。

**商工観光班長** 内部で検討し、今後の計画に反映させます。



温泉下のグラウンド

**議員** 商工振興費の中の企業誘致対策事業はどのようなことを行なったのか。

**まちづくり課長** 都会から舟形町へ要介護者を受け入れるふるさと特養整備のための要望活動を東京都のほか、東京特別区を8区訪問してきました。今後も、東京の全区役所及び徳洲会理事長へ要望活動を続けていきます。

**議員** 昨年7月より実施の中学生までの医療費無料化拡大による、国保会計への影響はどのようなものか。

**健康福祉課長** 一般会計で23年度は月平均で40万50万円、24年度は月平均70万円程度の医療費の負担となっています。今後は、これらの動向を注視しながら取り組んでいきます。



町の幼児検診

**議員** 収入未済額130万円の内容は。

**地域整備課長** 公営住宅使用料の滞納金11名分と、町営住宅を出て転出された方の滞納金1名分の合計金額です。

滞納者には督促状を出し戸別訪問や分割払いなどで集金に努めています。

### 歳出

**議員** 毎年、職員研修費の不用額が発生しているがもう少し計画的に進めるべきではないか。

**総務課長** 研修計画に基づいて実施していますが、研修経費の軽減化と日常業務の都合による参加者の減少により不用額が発生しました。今後は予算内で有効に使用していきます。

**議員** 業務の都合により研修に参加できないというのは、職場環境に問題があるのでは。

**総務課長** 体制整備をしながら職員研修費の有効活用に努めます。



民俗資料館



古民家

**議員** 地域支援事業費補助金の内容は、また、民俗資料館に炭鉱の町であったという資料を展示すべきではないのか。

**教育次長** 町の文化祭の前に民俗資料館で縄文時代の企画展を計画しています。今後、県の埋蔵文化財センターと相談し、西ノ前遺跡で出土した縄文の土器関係を展示する予定です。亜炭についても検討していきます。

**議員** 民俗資料館に隣接する古民家の有効活用を考えは。

**教育長** 運営委員会委員と相談、検討し有効活用するように努力していきます。

**議員** 平成25年度の職員採用の応募状況と面接試験の試験官は誰が行うのか。

**総務課長** 応募者は37名です。面接試験についてはまだ未定ですが、公平性に欠けることのないように対応します。

**議員** 防犯灯整備事業補助金によりどのような機種種の防犯灯を設置したのか。

**まちづくり課長** 機種については各町内会で選定することになっています。今後は節電対策として防犯灯の更新時にはLED化を勧めたいと思います。



LED化が待たれる防犯灯

**議員** 各町内会に設置した発電機、投光器の所有はどうなっているのか。

**総務課長** 発電機、投光器は町の物品として管理していきます。

## 特別会計

### 簡易水道事業

**議員** 簡易水道の石綿管布設替え工事は、すべて完了したのか。未完了であれば今後の計画はどうなっているのか。

**地域整備課長** 25年度は長者原地区、26年度は真木野地区、沖の原地区、27年度は松山地区を行い布設替え工事は完了になる計画です。



石綿管布設替え工事



奥山 謙三 議員

# 閉校校舎を利用した「大人の学び舎」の創設を

## 開講された「舟形大人塾」

**【質問】** 今回提案する「大人の学び舎」の創設は、閉校校舎を活用し、学校の授業スタイルで行い、講師は全国で活躍している方を呼んで講義を行なっていただき、自己を高め幅広い知識の習得を通じて、一生学ぶことの大切さを理解していただけたらと思います。

そして、地域、自然人と人との繋がりなどの良さを実感出来る人が増えて欲しいと考えています。創設について、町長の考えを伺います。

**【町長】** ご提案の「大人の学び舎」の創設については、統合後の3校の利用について「跡地利用検討委員会」を各学区毎に設置していますので、その中で検討していきたいと思っております。

閉校校舎の利用とは別ですが、例年、社会教育事業で行なっている地域学講座があります。今年度は、「学ぶ・自ら考える」ことを中心とした「舟形大人塾」として計画しております。

**【町長】** 最上8市町村が連携して立ち上げたこの研究所は、各市町村と最上総合支庁から2名ずつ、最上広域から1名の19名で構成されており、月1〜2回程度の研究活動を行なっています。

自己を高める幅広い知識の習得はとても大切であり、一生学ぶとする姿勢は、生涯を通じて必要なことだと思います。しかし、学校教育のようには、ある程度集団の規範を持って学習していくための環境は望ましいです。

自己を高める幅広い知識の習得はとても大切であり、一生学ぶとする姿勢は、生涯を通じて必要なことだと思います。

自己を高める幅広い知識の習得はとても大切であり、一生学ぶとする姿勢は、生涯を通じて必要なことだと思います。

自己を高める幅広い知識の習得はとても大切であり、一生学ぶとする姿勢は、生涯を通じて必要なことだと思います。



第1回舟形大人塾

自己を高める幅広い知識の習得はとても大切であり、一生学ぶとする姿勢は、生涯を通じて必要なことだと思います。

自己を高める幅広い知識の習得はとても大切であり、一生学ぶとする姿勢は、生涯を通じて必要なことだと思います。

自己を高める幅広い知識の習得はとても大切であり、一生学ぶとする姿勢は、生涯を通じて必要なことだと思います。



齋藤 好彦 議員

# 買物弱者への支援策を

## JA・商工会と支援策を検討

**【質問】** 買物弱者は、人口の減少による店舗の閉鎖や店舗までの交通手段の問題により起こるものや高齢者に多い体力的な問題による要因があり、徐々に増加傾向にあることから、何らかの支援策が必要であると考えます。

買物弱者への支援策として、町とJAと商工会が連携した移動販売車が、

移動販売車は、何か不測の事態が発生した場合、災害支援に用いることもでき、極めて有益な一面も有することになると考えます。災害対策も担った、移動販売車による買物弱者対策について伺います。

また、現在、町で実施している高齢者「ミニミニ」や「ふれあい事業」(タワシ)基本料金券24枚)があり、買物に出かける際も利用していただければと考えています。

また、現在、町で実施している高齢者「ミニミニ」や「ふれあい事業」(タワシ)基本料金券24枚)があり、買物に出かける際も利用していただければと考えています。



移動販売車での買い物

また、現在、町営バスとスクールバスを活用する新たな町営バスの運行を検討しておりますが、買い物客から最寄りの商店に停車してほしいという要望があれば、バス停設置について道路管理者及び警察との協議も行って考えています。

その後、町で検討した結果、「国宝」縄文の女神入り年賀はがきを販売することになりました。詳しくは町から配布されたチラシをご覧ください。



加藤 憲彦 議員

# 今後の広域消防体制について

## 広域理事会で検討



ドクターヘリコプター

**【質問】** 11月に予定されている、ドクターヘリ運航に係る町の対応について伺います。

**【町長】** 現在、11月中旬のフライトに向けて、県・消防本部・運航会社・市町村と準備にあたっています。

門医と看護師が搭乗し、救急現場に駆け付け、必要な救命治療を施した後、基地病院である県立中央病院や山大病院、日本海病院など県内10箇所の拠点病院に搬送されることとなります。搬送された場合の費用は無料ですが、救急現場やドクターヘリ

内での治療に要した医療費は、通常の医療費同様、医療保険制度に基づき請求されることとなります。ドクターヘリの導入により、救命率の向上や後遺症の軽減が図られ、県内における救急医療の更なる充実・強化が期待されています。

次に、広域消防体制についてですが、長年に亘る議論の結果、広域消防本部体制を将来、6署体制で運営していくことに決定し、現在その方向に進んでいるものと理解しています。

(※あらかじめ定められた臨時の離着陸場)

町としても、町内における\*フンデーションの適地の確保に向けて、県地域医療対策課やヘリコプターの運航会社、最上広域消防本部と一緒に現地での確認作業を実施しています。特に冬期間は雪の影響からランデブーポイントを最適な状態に確保するため、日常的な除雪作業が必要となりますが、人命救助とドクターヘリの安全運航に向けて、町民の理解と協力を得ながら、町としても出来る限りの対応をしていきたいと考えています。



佐藤 広幸 議員

# 小学校統合に向けた準備状況は

## 課題を教職員で更に検討

**【質問】** 平成25年4月開校予定の各小学校の現在の準備状況はどの様に進んでいますか。

います。

また、子ども達が希望と喜びを実感できる学校となるよう、4つの小学校が連携し、学校毎に交流授業を設定して子ども同士の交流を図ったり、その他にもPTA組織の在り方、スクールバスの停留場所など新たに設定しなければならぬ事項



増築中の舟形小学校

について検討しています。また、閉校のための取り組みも各小学校単位で実行委員会が組織され進められています。更に、各小学校で実施してきた学校行事の調整も、教育課程との関わりもあり、町長教頭会や教務主任会に、町の意向を勘案してもらいながら検討を行なっています。

**【質問】** 舟形小学校の周辺整備が進められ、駐車場や歩道整備が完成し、民間住宅も建てられてきましたが、舟形小学校より一関線の「町道舟形一」の関線「の道路と歩道の整備を順次行つべきではないかと考えますが、町ではその計画はありませんか。

関線歩道整備工事」として(施行延長600m)平成25〜26年度事業に計画されています。平成25年4月に4小学校が1校になり、また、保育園が隣接し、子育て支援住宅も2棟あることから、ハリヨ地区一帯が教育ゾーンとしてイメージが浮かんでいきます。スクールバスで通学する子ども達がいる一方で、距離の近い一関町内の子ども達はこの路線を通過して徒歩での通学です。このようなことから、歩道の整備については、歩行者の安全・安心を図るためにも県と協議し、今後検討していきたいと思えます。



佐藤 勇 議員

# 担い手・経営対策で地域振興

## 町として最大限の取り組みを

**質問** 2009年12月の農地法改正により一般企業の農地参入が増加しており、農地、農村が果たしている役割を見直すべきではないでしょうか。農業を理解し支える人、次世代へ農業を繋ぐ担い手を育成していく必要が

あります。国では、個別所得補償制度、「人・農地プラン」で、経営体育成を図り、競争力、体質強化、地域振興を5年間で集中展開するつもりですが、町としてどのようにつなげていくのかを伺います。

**町長** 各市町村で「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」を作成することになりましたが、町では郡内いち早く、「第一回舟形町人・農地プラン検討会議」を開催し、農家の所得や安定した経営を推進するように取り組んでいます。地域の中心となる経営体、認定農業者や担い手、農地の受け手となる農家に規模拡大加算や農地集積協力金の交付等により、農地集積を図りやすくするための支援策や、青年の就業意欲の喚起と就業後の定着を図るための給付金の交付など、それぞれの地域の未来に向けたプランを作成したいと考えています。

農業大学校在学者に対し、年間授業料の全額補助をしています。いずれにしても、先行き不透明な農業事情がありますが、国の政策を見据えながら町として最大限に可能な限り様々な事業に取り組んでいきたいと思っています。

**町長** 現在、農業委員会で農地パトロールや遊休農地の実態調査と農家個々への聴き取り等を行い、まず現状にあった対策を町及び農業委員会並びに農協、農事実行組合、認定農業者等からなる仮称「遊休農地利用拡大協議会」を組織化して課題を出し合い、効果的な活用方法を検討してみたいと思っています。



圃場整備予定地（小松地区）

**質問** 町の田畑全筆の農地パトロールにより耕作放棄地が年々増加していることが確認されています。過疎高齢化、後継者不足に加え、圃場条件の不備が最大の要因です。遊休農地対策室を設置し、次世代へ整備された農地を繋げることが農業振興に繋がると思います。町長の考えを伺います。

**町長** 町として、耕作放棄地の再生、遊休農地の有効活用、安定した所得の確保を推進するためにも国や県の事業を積極的に取り入れ、施設の整備や揚水機場の維持管理等の事業を早期に実施できるように取り組んでいきたいと考えています。

また、次世代の担い手育成事業として山形県立

### ☆シリーズ

## 一般質問のめざす

（平成23年3月定例会）

### 質問

小学校統合後の跡地利用は、地域の活性化のためにも地域の要望を聞きながら進めていきたいと考えています。

### 答弁

統合後の3校舎をどのように活用していくかを考え、24年度中には小学校跡地利用検討委員会を組織して、具体的な検討を重ねていきたいと考えています。

### 現状

平成25年4月1日に小学校4校が統合されることに鑑み、小学校毎に跡地利用検討委員会を設置し、これからの利用について検討を行なっています。委員は町内会長、民生児童委員、老人クラブ、PTA役員等の代表10名で構成されています。視察調査も含めて2年間検討する予定です。

また、統合するにあたり、統合準備委員会も立ち上げていますが、決定事項については広報や各小学校長を通じてお知らせしています。行事等集会の折にもお話しさせていただいたり、教育委員会でも必要に応じてチラシを作成し保護者に配布しています。

## 総務振興常任委員会所管事務調査

（平成24年7月4日）

総務課から庁舎の耐震化、まちづくり課から西堀地区の女神の丘や縄文炎祭の進行状況、産業振興課からねぎ選果場の稼働状況、地域整備課からは若あゆ温泉地区の災害復旧工事の状況について、それぞれ説明を受けたのち現地調査を行い問題点などの検証を行なった。

- (1) 庁舎の耐震化工事は、来年から2年かけて工事をを行う予定だが、大地震の際は倒壊の危険があると診断されている。特に庁舎屋上の塔屋はコンクリートや、らせん階段の劣化が激しく、危険な状況であるので、早期に着工すること。
- (2) 縄文の女神に関しては、遺跡地の整備や特産品の開発が遅れているので早急に対策を行うこと。
- (3) ねぎの選果場については、有効的に稼働させるためにも作付面積の拡大が図られるように、ねぎ価格の安定化対策や長期的な経営安定対策等、更なる行政の支援策を確立すること。
- (4) 若あゆ温泉地区災害復旧工事は、おおむね順調に進んでおり、温泉客に影響が出ないように配慮し工事をすすめること。



ねぎ選果場



若あゆ温泉災害現場



視察研修（真室川町）

## 全員協議会視察研修

（平成24年7月18日）

真室川町にて、秋山牧場と真室川駅舎の視察を行いました。

秋山牧場は、牧場面積が43haあり、町内の農家から預かった肉用牛や乳用牛を育てていました。そこで使っている飼料用米SGS（稲ソフトグリーンサイレーシ）は、もみ米が地元産という安心感や、輸送・保管経費もかけないことでコストを削減するといったメリットがあり、輸入の配合飼料より安く畜産農家に販売していること、素晴らしい取り組みだと思いました。

また、真室川町の駅は、「真室川森の停車場」と称する木造二階建てで瓦葺のとても立派なものでした。駅舎の中は待合所のほかに売店、二階は集会場になっていました。

### 「まち活性化特別委員会講演会」

(平成24年8月31日)

最上総合支庁長の長谷川潔美氏を講師に、「最上地域政策研究所の取り組みについて」と題して講演会を開催しました。

現在、町からも職員2名が派遣されている「最上地域政策研究所」について詳しく説明していただき、ことともに、最上地域の共通課題、未来像、町職員の在り方などお話ししていただきました。

- 研究所の研究テーマは、
1. 定住促進のための雇用対策、地域産業振興
  2. 人口減少・少子高齢化のもとの集落・むらつくり、コミュニティ対策
- ということでした。

最上地域全体で、この共通の課題解決に取り組み、この研究所の成果に期待したいと思えました。



特別委員会講演会



戸沢村議会の様子

### 「まち活性化特別委員会視察研修 戸沢村議会傍聴」

(平成24年9月12日)

議会の活性化に取り組んでいることもあり、戸沢村議会を傍聴させていただきました。

当町議会の議事進行と同じところもあれば違うところもあり、たいへん参考になりました。

また、一般質問では活発な議論がなされています。

戸沢村議会では、インターネットでの議会中継配信サービスを行っているということで、今後も参考にさせていただきます。

## 声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

平成20年度から取り組んだ「農地・水・環境」保全会の代表となり、地域の仲間とともに活動を始めて5年になりました。各事業に参加協力してくれる町内会の皆様や各団体の方々には、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。昨年3月の大震災以降、ご縁があつて宮城県名取市の被災した美田園地区の方々へ、8月に自家用野菜を各家庭から提供して頂き、12月には冬野菜、そして今年の夏にも、町内会各家庭で採れた自家用野菜のお裾分けを受け、保全会の活動として届けてたいへん感謝されています。被災された方々の元氣回復・復興への一助となるよう、これからも地域の理解と協力を得て支援を継続する意向です。

「農地・水・環境」の目的は、ともに「協働作業を通じて心に温もりのある笑顔いっぱい」の「堀内」にこの思いでした。この事業に参加することで少しずつ地域の優しい心遣いと笑顔が広がり、また、被災地との交流から学んだことで町内会の自主防災組織の立ち上げも、向こう三軒両隣と共助の心を大切に、もうすぐ結成がなされ、災害避難時に安心の支えとなることでしょう。



堀内地域保全会会長 矢作昌孝さん (堀内)

### 舟形町教育委員会委員の任命に同意

保護者であるものの要件による任命



木島 広人氏 洲崎 (37歳)



太田二三男氏 舟形第4 (65歳)

任期満了による任命

任期は 平成24年10月1日から 平成28年9月30日まで

### 「夜間議会」

(平成24年9月7日)

舟形町議会では、広く町民に親しまれる開かれた議会を目指して、初の夜間議会を開催しました。

当日は、多くの傍聴者もあり、活発な議論を行うことができました。

また、若粘まつりの盛況を願い「若粘まつりTシャツ」を着用して行いました。

議会では今後も町民の付託に応えられるよう頑張っていきます。



初の夜間議会

### 「請願・意見書」

9月定例会で審査した請願は次のとおりです。

● 少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書の提出を求めめる請願 **採択**

請願者 山形県教職員組合最上地区支部 支部長 松田ひろみ

● 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出を求めめる請願 **採択**

請願者 連合山形新庄最上地域協議会 議長 渡辺裕一

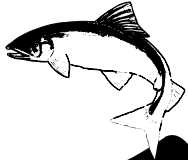
今期採択の請願についての意見書を政府、関係機関に提出しました。





# シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



# えがったなあ



□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？  
共通の友人を通して知り合いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？  
山形に行く時などいつも素通りでしたが、住んでみると子育て支援などが整っていて、子育てするのにとても良いと思います。

□舟形町での生活はどうですか？  
近所の方や商店の方たちがとても親切にしてくださいるので、毎日楽しく生活できています。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？  
ふれあい広場など、子どもと一緒に遊んだりする機会を町でつくってくれたりしているところが、子育てをする上でたいへん素晴らしいことだと思います。

ただ何をすることも車で出掛けなければいけないところが少し不便だと思います。

□舟形町に望むことはありますか？  
商工会青年部が婚活に力を入れてがんばっていますが、30代、40代の独身の方が多いと思います。

結婚して子どもが生まれないと人口が減り、地域が活性化していきません。若い人達が安心して結婚、子育てができる環境を今以上に整えてほしいと思います。

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。  
今回は、真室川町から堀内に嫁いで来た齊藤文美(旧姓渡辺)さんです。  
皆さんよろしくお願いします。

## お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。  
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)  
舟形町役場議会事務局  
TEL 0233-32-2111(代)

## 編集後記

猛暑で過ごした今年の夏、さらに9月15日には異常低気圧の発生により舟形町に雷が降り、竜巻のような暴風雨が吹き荒れ、小屋の屋根等が飛ばされ、ハウスや農作物にも被害が発生しました。まさに異常気象です。

また、竹島、尖閣諸島、外国との領土問題が発生しています。

そんな国の動きの中、町で発掘された縄文の女神がついに国宝になりました。町民みんなが祝福しているところです。

今年の冬はどんな冬になるのか、助け合いながら過ごしていきたいと思っています。  
議会でも全員が安全、安心のため頑張っていきます。  
(加藤 憲彦記)

## 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 信夫 正雄 |
| 委員長  | 加藤 憲彦 |
| 副委員長 | 奥山 謙三 |
| 委員   | 佐藤 広幸 |
|      | 斎藤 好彦 |
|      | 佐藤 勇  |